

# FC

年々増え続けるフランチャイズビジネス。近年は既存業態をより細分化した、ニッチなビジネスが注目を集めることも多い。これらニッチビジネスは業態が絞り込まれているので、開業の際も低投資で済み、オペレーションも簡略化できるなどのメリットが人気の秘訣だ。

## Pick Up! 心地 グリップ

### 反復学習方をシステム化 パソコンを使った自立型学習塾

自ら考え、行動を起こす姿勢を育むため、パソコンを使った自立型学習塾「完全担任制 個別指導

GRIP」をFC展開するのが心地（千葉市中央区）だ。現在、関東を中心に直営店4校、FC店4校を開校している同社の強みは、その場で理解させるだけでなく、一人でも問題が解けるようにするための「出来るようになる」を重点的においた授業スタイルにある。

具体的には、授業の進行は、5段階に分かれている。画像などを用いたパソコンで基礎を学ぶ「要点確認」。学んだ基礎を確認するための「例題」。単元項目の演習問題に挑戦する「練習問題」。応



用問題を解く「類題」。最終的な確認をする「チェックテスト」。

同社は、教える時間よりも問題を解くということに重点を置いている。また問題の解説や類題の検索などはパソコンが全てを行なうので、教室長はサポート業務を行うだけである。講師の質に左右されることがないので、利用者にとっても安心して勉強ができる。

## Pick Up! リハコンテックス・ほっとステーション

### ドイツの医療認証を取得した専用機器を使用 自立生活を後押しするリハビリ型デイサービス

「当社の目的は、人間の日常動作である「立つ」「座る」「歩く」といった生活に必要な力を利用者に取り戻してもらうことにあります」

こう話すのは、半日型のリハビリ型デイサービスを運営するリハコンテックス（千葉県船橋市）の山下哲司社長。同社が運営を行う「レックス倶楽部」は、昨年9月に1店舗目をオープンし、現在FC3店舗を含めた5店舗を展開している。

参入に当たり同社では、インターネットカフェ事業などを手がけるほっとステーション（東京都品川区）と提携。加盟募集や物件選

定などの営業活動はほっとステーションが行い、加盟後の運営業務をリハコンテックス社が行う仕組みとなっている。

「リハビリ専用機器として唯一認められているドイツの「TUV / ZAT認証」の機器を用いている点特徴です。現在は病院の診療報酬改定により、十分な体調でないまま退院させられてしまう「リハビリ難民」と呼ばれる方が増えています。当社では、リハビリ専門の機器を用いているため、こうした需要に十分対応することが可能となります」（山下社長）